

# 私の底銘した人生訓

第八

一元構心の私  
赤松小寅 社長 労働局 局長



私は取り立てて、構心する様な人生訓の持ち合せはない。誠に不心得な事であるが、次第であるが、さればとて今更鷹爪らし

私は何時の間にか相當の年月が官としての生活をして来た。そして其の間に何度か任地を轉々としたけれど、私任地でも其の任地を故郷の如く愛する心持を忘れな

若し失敗すれば君が云はれるのだから、加奴にしては。然し私は其の友人の親切を深く喜んだと共に、何の欲得もなく、腹内の人の爲めに一意働く事の出来る自分の心持にも感謝した。私は又私

世間は所謂仕事をしまへればは通り手であるとか、優秀な地方官であるとか囁立てるの

に従ふ者にも必要ない心持ではな

## 組合員諸君の負担



理事 務 専  
郎 三 虎 木 \* 佐

一司を濟經の庭家一

記者 一寸御店を覗いて見ても、こうして事務室に入つて見ても、あまりに整然としてゐるので、何から御聞きしていかと迷ふ位です。労働組合

金々本 資金は一萬七千五百八十餘圓で、各種積立金は、八千九百三十餘圓

記者 毎月一人平均どの位の額で

佐々木 今日理事會で決定したこ

佐々木 賞めて貰つて恐縮しますが、これは全く願調に育つて來てゐるので、とくにこれと云つて手柄話をする

佐々木 そうですね。約一萬五千圓です。常任は八人で、配當は一人です



記者 どうも有難う御座いました



今から顧みて、時には普通官吏としては未だ程遠い力

浮かへると又職任させられて、結局其の地では少しも

私は地方官として未だ大げさな心構へは必要である

去る西一帯の大規模な高潮が興ると金船島支那事務